

派遣現職教員支援事業 —派遣現職教員支援と活躍の場の拡充—

磯田 正美

筑波大学教育開発国際協力研究センター

国際教育協カニシアティブ (1)我が国の国際教育協力の質の向上を目的とした活動 青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

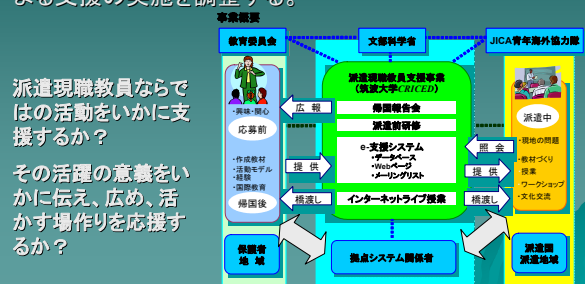
- ◆ 本活動は、JICA青年海外協力隊の「現職教員特別参加制度」により途上国に派遣される教員に対し、教育上の観点からサポートを実施するものです。現職教員の派遣実績が多い職種を対象に、教育制度面や現地での指導法に関する情報提供等のサポート等を行う、以下の一連の取組を実施します。
- ◆ 隊員派遣前 ・ 隊員の活動に役立つ教材、指導書等の教育モデル、その他資料等の作成・上記教材等の紹介・隊員の活動準備に対する教育上の助言等・隊員との連絡体制の構築
- ◆ 隊員派遣中 ・ 隊員の現地での活動に対する教育上の助言等・各実施者が作成した教材等の有効性の確認・改善（実施にあたっては、隊員の了解を得ることとする）
- ◆ 帰国後 ・ 帰国隊員が行う国際理解教育へのサポート（指導案の作成や教材準備等）
- ◆ 筑波大学教育開発国際協力研究センターが、全体調整を担当します。

青年海外協力隊派遣現職教員のサポート 関係者紹介

- ◆ 全体：筑波大学教育開発国際協力研究センター（代表：中田英雄）
- ◆ 数学・理科：広島大学（代表：池田秀雄）
- ◆ 体育：青年海外協力協会（代表：渡邊祐輔）
- ◆ 家庭科：日本女子大学（代表：佐々井 啓）
- ◆ 環境教育：宮城教育大学（代表：村松 隆）
- ◆ 幼児教育：お茶の水女子大学（代表：浜野 隆）
- ◆ 小学校：筑波大学（代表：田中統治）
- ◆ 障害児教育：筑波大学（代表：前川久男）

全体調整の目的

- ◆ 派遣前、派遣中、帰国後における派遣現職教員の活動への継続的な支援体制を築くとともに、支援に関わるリソースならびにモデル事例の開発を行うとともに、各採択課題による支援の実施を調整する。



派遣前研修

- ◆ 期日：平成18年4月4日、5日
- ◆ 会場：国際協力機構国際総合研修所・筑波大学東京キャンパス
- ◆ 内容：国際理解教育研修
開発教育研修、
帰国隊員による報告会、
拠点システム成果共有研修
ICT活用研修、など



コンテンツ(教育課程・教材・教具・ソフトウェア)に係る情報提供体制の拡充

- 派遣現職教員支援のための教育課程・教材・教具に関する情報の拡充
- 派遣現職教員支援webサイトを通しての各種情報の提供
- アーカイブデータの登録

小学校学習指導要領
解説 日英対訳

Webページ:
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/>

